docomo

GALAXY S II　SC-02C

クイックスタートガイド

はじめに

「SC-02C」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- SC-02Cは、W-CDMA･GSM/GPRS･無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル･地下･建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル･マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA･GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。

- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され、不正に利用されたりする可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上、ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

本書についての最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

  http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

eトリセツ（取扱説明書）を利用するには、ホーム画面で「アプリ」→「取扱説明書」をタップします。

操作手順の表記について

本書では、メニュー操作など連続する操作手順を省略して以下のように記載しています。

- タップとは、FOMA端末のディスプレイを指で軽く触れて行う操作です(P.49)。

(例)ディスプレイのホーム画面から、 (アプリアイコン)、 (検索アイコン)を続けてタップする場合は、以下のように記載しています。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

- 本書の操作手順や画面は、主にお買い上げ時の状態に従って記載しています。本FOMA端末は、お客様が利用するサービスやインストールするアプリケーションによって、メニューの操作手順や画面の表示内容などが変わる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、複数の操作方法が可能な機能や設定は、主に操作手順がわかりやすい方法について説明しています。
- 本書では、「SC-02C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

本書の構成

本体付属品および主なオプション品

■ 本体付属品

SC-02C
（リアカバー SC03、
保証書含む）

クイックスタートガイド
（本書）

電池パック SC03

FOMA 充電microUSB
変換アダプタ SC01

■ 試供品

microSDカード（1GB）
（取扱説明書付き）

マイク付ステレオヘッド
セット（取扱説明書付き）

PC接続用USBケーブル
（取扱説明書付き）

■ 主なオプション品

FOMA ACアダプタ 01／02（保証書・取扱説明書付き）

HDMI変換ケーブル SC01（取扱説明書付き）

ジャケット型電池パック SC01（保証書・取扱説明書付き）

卓上ホルダ SC01（取扱説明書付き）

その他オプション品について→P.141

目次

SC-02Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末は、iモードのサイト(番組)への接続やiアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード(ドライブモード)には対応しておりません。
- 本FOMA端末は、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になったりすることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスや Facebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットC以外のプロバイダはサポートしておりません。
- FOMAカード(青色)をお使いの場合、海外で本FOMA端末を利用することはできません。FOMAカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- テザリングの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。

 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1.FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電用変換アダプタ含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
- FOMA端末の電源を切る。
- 電池パックをFOMA端末から取り外す。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタ（充電用変換アダプタ含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2.FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ内部には耐衝撃性の樹脂、カメラのレンズの表面にはアクリル部品を使用し、ガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

アンテナ、ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、内部物質が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。内部物質が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上、ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.26「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠ 警告

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり、充電したりしないでください。

電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ（充電用変換アダプタ含む）の取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）のコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）には触れないでください。

感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタ(充電用変換アダプタ含む)のコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ(充電用変換アダプタ含む)のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V･24V(マイナスアース車専用)
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V
(家庭用交流コンセントのみに接続すること)

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）を持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。

- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

使用箇所		使用材質	表面処理
ディスプレイパネル		強化ガラス	AFコーティング
外装ケース（周囲）		表面:PC+マグネシウム 裏面:PC+ガラス繊維20%	ニッケル蒸着 UVコーティング
サイドボタン（音量ボタン、電源ボタン）		アルミニウム	黒アルマイト
リアカバー		PC + GF 10%	UVコーティング
ホームボタン		アクリル樹脂	ニッケル蒸着
カメラレンズパネル		アクリル樹脂	ー
カメラレンズ周囲部分		アクリル樹脂	黒アルマイト
受話口		PCABS	UVコーティング
電池パック	端子部分	銅合金	ニッケル下地メッキ／金メッキ
	本体	PC樹脂	ー
	ラベル	PP	ー

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。
なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子やヘッドホン接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ 電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■ ディスプレイの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
ディスプレイが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 外部接続端子やヘッドホン接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色･焼付きを起こす場合があります。

■ リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ 電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■ 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■ 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタ（充電用変換アダプタ含む）についてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

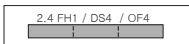
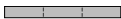
Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1 / DS4 / OF4

2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
（帯域図）	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetoothデバイス使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

■ 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項
WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■ **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

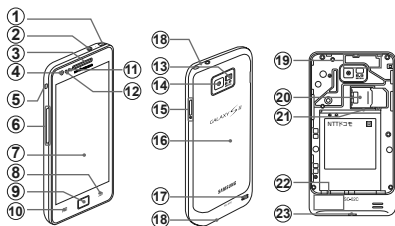
FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中に携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

各部の名称と機能

① **ワンセグアンテナ**

② **ヘッドホン接続端子**
- マイク付ステレオヘッドセット(試供品)などを接続する直径3.5mmの接続端子です。

③ **受話口**
- 相手からの音声が聞こえます。

④ **内側カメラ**
- 自分撮りの撮影ができます。

⑤ **ストラップ穴**
- ストラップを取り付ける場合は、リアカバーを外してストラップ取り付け穴に通してから、ストラップがこの穴を通るようにリアカバーを取り付けます。

⑥ **音量ボタン→P.104**

⑦ **ディスプレイ(タッチスクリーン)→P.49**

⑧ **バックボタン**
- メニュー表示などをボタン操作の一段階前の状態に戻します。
- アプリケーションを終了します。

⑨ **ホームボタン**
- 操作中の画面をホーム画面に戻します。
- 1秒以上押すと、新しく起動した順に6件までの機能やアプリケーションの一覧とタスクマネージャー(P.76)の起動ボタンが表示され、タップすると起動できます。

⑩ [メニュー] メニューボタン
- 表示中の画面やアプリケーションの状態に応じたオプションメニューを表示します。
- ロングタッチすると、クイック検索が起動できます。

⑪ 照度センサー
- 周囲の明るさを検知します。ディスプレイの明るさの自動調整などに利用されます。

⑫ 近接センサー
- 通話中に顔などの接近を検知して、ディスプレイの表示を消します。

⑬ ライト
- 静止画や動画撮影時に点灯／点滅します。

⑭ 外側カメラ
- 静止画や動画を撮影します(P.130)。

⑮ [電源] 電源／終了ボタン
- 1秒以上押して、FOMA端末の電源を入れます。
- 手動で画面ロックを設定できます(P.64)。
- FOMA端末の電源が入っているときに1秒以上押すと、オプションメニュー画面が表示され、電源を切ったり、マナーモードや機内モードを設定したりすることができます。

⑯ リアカバー

⑰ スピーカー
- 着信音が鳴ります。
- ハンズフリー通話時に相手からの音声が聞こえます。

⑱ 送話口
- 自分の音声を相手に送ります。
- 端末上部の送話口は、ハンズフリー通話中や動画撮影中にのみ機能します。

⑲ GPSアンテナ※

⑳ ドコモUIMカードスロット

㉑ microSDカードスロット

㉒ FOMAアンテナ※

㉓ 外部接続端子
- 付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタSC01などを接続します。

※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

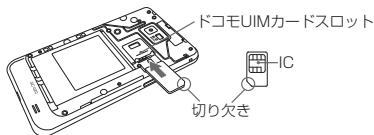
ドコモUIMカード

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモUIMカードが取り付けられていないと、FOMA端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

- ドコモUIMカードの詳しい取り扱いについては、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

ドコモUIMカードの取り付けかた／取り外しかた

ドコモUIMカードを取り付ける

1 ドコモUIMカードのIC面を下にして、ドコモUIMカードを図の向きでドコモUIMカードスロットの奥まで差し込む

ドコモUIMカードを取り外す

1 ドコモUIMカードスロットからドコモUIMカードをゆっくり引き抜く

お知らせ

- ドコモ UIM カードを取り扱うときは、IC に触れたり、傷つけないようにご注意ください。
- ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外したりしようとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。
- 取り外したドコモUIMカードはなくさないようご注意ください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号が設定されています（P.89）。

microSDカード

FOMA端末は、microSDカード(microSDHCカードを含む)を取り付けて使用することができます。

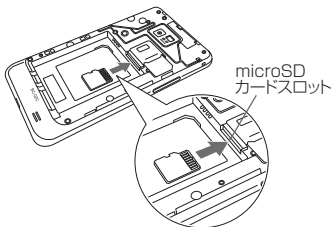
- 本FOMA端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています(2011年6月現在)。
  対応のmicroSDカードについては各microSDカードメーカへお問い合わせください。

microSD カードの取り付けかた/取り外しかた

- 取り付け/取り外しを行うときに、microSDカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

microSDカードを取り付ける

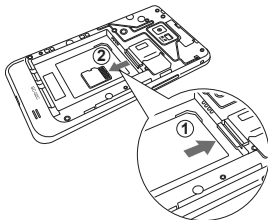
1 **microSDカードの金属端子面を上にして、図の向きにスロットへmicroSDカードが固定されるまで奥に差し込む**

正しい向きに差し込むと、まずmicroSDカードスロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

microSDカードを取り外すときは、あらかじめ「SDカードのマウント解除」を行ってください。

1 FOMA端末に取り付けられているmicroSDカードを軽く押し込む（①）

microSDカードが少し飛び出します。

2 microSDカードをまっすぐ引き出す（②）

お知らせ

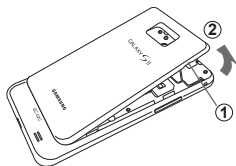
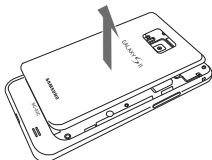
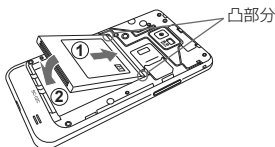
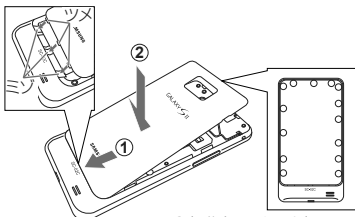
- microSDカードを取り外すとき、microSDカードがFOMA端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

電池パック

- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- リアカバーの取り付け／取り外しは、FOMA端末のディスプレイなどが傷つかないよう、手に持って行ってください。また、指や手で電源ボタンを押さないようにご注意ください。
- 本FOMA端末専用の電池パックSC03をご利用ください。

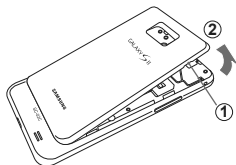
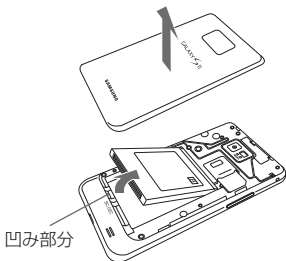
電池パックを取り付ける

1 リアカバーの①の部分に爪を入れて、②の方向へ持ち上げる

- 爪を傷つけないようにご注意ください。

2 リアカバーを上に持ち上げて取り外す

3 電池パックの B マークを上にして、FOMA端末の凸部分を電池パックの凹みに確実に合わせ、①の方向へ押し付けながら、②の方向へ押し込む

4 リアカバーのツメをFOMA端末のミゾに差し込み、①の方向に取り付け、②の方向にしっかりと押し、取り付ける

○部分をしっかりと押し、FOMA端末とすきまがないことを確認してください。

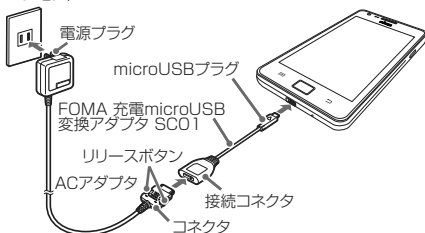
電池パックを取り外す

1 リアカバーの①の部分に爪を入れて、②の方向へ持ち上げる

- 爪を傷つけないようにご注意ください。

2 リアカバーを取り外し、FOMA端末の凹み部分を利用して電池パックに指をかけて、矢印の方向へ持ち上げて取り外す

充電

FOMA端末専用の電池パック SC03を使用してください。

ACアダプタを使って充電する

FOMA ACアダプタ 01／02（別売）と付属のFOMA充電microUSB変換アダプタ SC01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタのコネクタの刻印面を上にして、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01の接続コネクタ（「SAMSUNG」の刻印面が上）へ水平に差し込む

2 FOMA端末の外部接続端子に、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01のmicroUSBプラグの「△」の刻印面を上にして差し込む

3 ACアダプタの電源プラグを起こし、コンセントに差し込む

充電が完了すると、ステータスバーに 🔋 が表示されます。

4 充電が完了したら、microUSBプラグをFOMA端末から引き抜く

5 FOMA 充電microUSB変換アダプタSC01の接続コネクタから、ACアダプタのコネクタを両側のリリースボタンを押しながら抜く

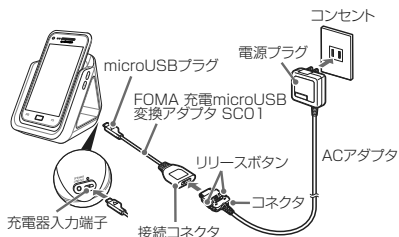
6 ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く

■ PC接続用USBケーブル（試供品）を使って充電する

FOMA端末をPC接続用USBケーブルを使ってパソコンと接続すると、FOMA端末をパソコンで充電することができます。

- パソコンとUSB接続を行うと、パソコン上に「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面または「同期セットアップウィザード」画面が表示される場合があります。パソコンと同期せずに充電のみ行いたい場合は、「キャンセル」を選択してください。
- 本端末の状態により、充電に時間がかかる場合や、充電できない場合があります。

卓上ホルダを利用して充電する

卓上ホルダ SC01(別売)と、FOMA ACアダプタ 01／02(別売)、付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01を使って充電する方法を説明します。

1 ACアダプタに連結したFOMA 充電microUSB 変換アダプタ SC01のmicroUSBプラグを充電器入力端子に差し込む

- PC接続用USBケーブルを使用して、PCと接続して充電することもできます。

2 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む

3 FOMA端末を卓上ホルダ SC01に差し込む

4 充電が完了したら、指で卓上ホルダを押さえながらFOMA端末の頭部をつかんで持ち上げ、取り外す

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **を1秒以上押す**
起動画面が表示され、続いて画面ロック(P.64)が設定された状態のホーム画面が表示されます。

初めて電源を入れた場合

画面の指示に従って初期設定を行います(P.51)。

2 **画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にドラッグする**

■ **電波状態を確認する**
ステータスバーに電波の受信状態を示すアイコンが表示されます（P.54）。
が表示されたときは、FOMA サービスエリア外や電波の届かない場所にいます。

電源を切る

1 **を1秒以上押す**
オプションメニュー画面が表示されます。

2 **「電源OFF」→「OK」**
終了画面が表示され、電源が切れます。

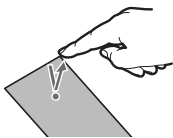
基本操作（タッチスクリーンの使いかた）

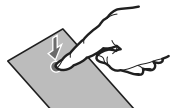
タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますので、ご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールを貼っての操作

本FOMA端末のタッチスクリーン（ディスプレイ）は、指で触れて操作します。本書内では主な操作方法を次のように表記しています。

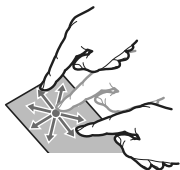
■ タップする／ダブルタップする

表示項目やアイコンなどを指で軽く触れて選択／実行します（タップ）。
また、表示されている画像やホームページなどをすばやく2回続けてタップして、表示内容を拡大／縮小します（ダブルタップ）。

■ ロングタッチする

表示内容や表示項目などを指で1秒以上触れ続けて、メニューなどを表示します。

■ ドラッグ（スライド）する

表示項目やアイコンなどを指で押さえながら、移動します。

■ スクロールする

表示内容を指で押さえながら上下左右に動かしたり、表示を切り替えたりします。

■ フリックする

表示内容を指で押さえながら、すばやく上下左右に動かして離し、表示内容をスクロールします。

■ 2本の指の間隔を広げる／狭める

表示されている画像やホームページなどを2本の指で押さえながら、指の間隔を広げたり、狭めたりして表示内容の拡大／縮小ができます。

初期設定

お買い上げ後、初めてFOMA端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従って以下の手順で使用する言語やインターネット接続の方法、およびGPSの位置情報の設定を行います。

1 Androidをタップして、設定を開始する

「言語変更」をタップすると、使用する言語を選択できます。

- 「緊急通報」をタップしたときに、日本国内でドコモUIMカードを取り付けていないときや、PINコードがロックされた状態、圏外、ネットワーク規制中は、緊急通報ができません。

2 Googleアカウントの設定を行う

- Google アカウントなど、設定したいアカウントをタップして画面の指示に従って設定します。
- 「スキップ」をタップすると、後でアカウントをセットアップすることができます。

■ **インターネットに接続されていない場合**

「Wi-Fiに接続」→「Wi-Fiを有効にしてネットワークに接続する」の操作3(P.137)を行います。

3 Google位置情報の利用を許可するかどうかを設定 →「次へ」

4 Googleアカウントを使用して、バックアップや復元を行うかを設定 →「次へ」

5 「セットアップを完了」

ステータスバーに表示される主なアイコン

ディスプレイ上部のステータスバーには、FOMA端末の状態や通知情報などを示すアイコンが表示されます。

ステータスバー

通知アイコン	
	発信中、通話中または着信中
	保留中通話あり
	不在着信あり
	Bluetoothデバイス(ヘッドセットなど)で通話中
	新着Gmailあり
	新着Eメールあり
	新着SMSあり
	SMSの送達通知あり
	SMSの配信に問題あり

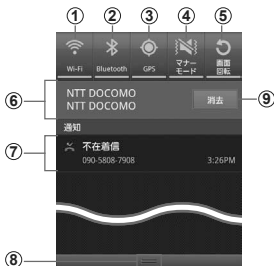
通知アイコン	
	新着インスタントメッセージあり
	データダウンロード中／完了
	データアップロード中／完了
	Picasaなどにデータアップロード完了
	留守番電話サービスの伝言メッセージあり
	アラームあり
	カレンダーなどのアラームあり
／	バックグラウンドで音楽プレイヤー再生中／一時停止中
	microSDカードのスキャン中
	microSDカードのマウント解除中
	USB接続中
	エラーメッセージあり
	Androidマーケットからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	Samsung Appsからインストール済みアプリケーションのアップデートあり
	ソフトウェア更新中

通知アイコン	
	アプリケーションのインストール完了
	非表示の通知情報あり(数字は件数)

ステータスアイコン	
⇔ 弱 強	電波状態
	圏外
	3Gネットワーク接続中(矢印色:グレー)
	3Gネットワーク通信中(矢印色　左:橙、右:緑)
	FOMAハイスピード/HSDPAネットワーク接続中(矢印色:グレー)
	FOMAハイスピード/HSDPAネットワーク通信中(矢印色　左:橙、右:緑)
	GPS機能現在地測位中(アニメーション表示)/測位完了(アニメーション表示停止)
	USBテザリング機能ON
	Wi-Fiテザリング機能ON
	USBテザリング機能とWi-Fiテザリング機能を同時にON
	Wi-Fi接続中/使用中
	Bluetooth機能ON

ステータスアイコン	
	Bluetoothデバイスと接続中
	データ同期中
	機内モード設定中
	マナーモード設定中(バイブレーションあり)
	ハンズフリー通話中
	ドコモUIMカード未挿入状態
⇔ 低　高	電池レベル
	充電中

通知パネルについて

ステータスバーを下方向にスクロールすると設定／通知パネルが表示され、アイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

設定／通知パネルの表示内容（表示例）

① Wi-Fi機能のON ／ OFFを切り替えます。

② Bluetooth機能のON ／ OFFを切り替えます。

③ GPS機能のON ／ OFFを切り替えます。

④ マナーモード／サウンド設定を切り替えます。

⑤ 画面の自動回転のON ／ OFFを設定します。

⑥ 接続中のネットワークの通信事業者名が表示されます。

⑦ 不在着信やSMSの受信などの通知情報が表示されます。

⑧ 上方向にスクロールすると設定／通知パネルを閉じます。

⑨ 表示されているときは、タップすると通知情報とステータスバーの通知アイコンの表示を消去できます。

- 通知情報の種類によっては、消去できない場合もあります。

お知らせ

- ①～⑤のアイコンは、有効に設定されている場合は緑色で表示されます。

ディスプレイの表示方向を自動的に切り替える

本FOMA端末は、本体の縦／横の向きや傾きを感知して自動的にディスプレイの表示方向の切り替えなどを行うモーションセンサーに対応しています。

お知らせ

- ホーム画面や一部の機能など、表示方向が自動的に切り替わらない機能やアプリケーションもあります。
- 表示方向が自動的に切り替わらないように設定できます。

画面の表示内容を画像として保存する

［ ］と［ ］を同時に押すと、現在表示されている画面を画像として保存（スクリーンキャプチャ）できます。動作が完了すると画面上にキャプチャの完了をお知らせするメッセージが表示されます。

- 一部のアプリケーション（ナビ、マップ、Latitude、Evernote、電話帳コピーツールなど）ではスクリーンキャプチャが動作しない場合があります。

ホーム画面について

FOMA端末の電源を入れて起動が完了すると、ホーム画面が表示されます。

ホーム画面の表示内容（表示例）

① **ウィジェット**（例：AccuWeather.com）
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

② **ショートカット**
タップして、アプリケーション画面（P.65）の機能やFOMA端末の設定項目などを起動します。

③ ホーム画面の位置が表示されます。ホーム画面を左右にスクロール／フリックして切り替えられます。

④ ホーム画面を切り替えても常に表示されます。
「アプリ」以外のアイコンは、アプリケーション画面（P.65）のアイコンと交換できます。

お知らせ

- ウィジェットやショートカットは、任意のホーム画面に追加できます。
- 本書では、ホーム画面にショートカットがあらかじめ追加されているアプリケーションの起動を、ショートカットをタップする操作手順で記載しています。

ホーム画面のメニュー

[メニュー]をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
追加※1※2	• 「ウィジェット」「ショートカット」: ウィジェット／ショートカットをホーム画面に追加します。 • 「フォルダー」※3：ショートカットをまとめて格納するフォルダーや、電話帳のフォルダーなどをホーム画面に追加します。 • 「壁紙」：ホーム画面の壁紙を変更します。
壁紙	ホーム画面の壁紙を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙ギャラリー」「壁紙ギャラリー」から選択して変更します。
検索	クイック検索ボックスを起動します（P.62）。
通知	通知パネルを表示します（P.56）。

項目	説明
編集※4	ホーム画面のサムネイルを表示し、ホーム画面を追加／削除したり、位置を入れ替えたりします。 • ホーム画面のサムネイルをロングタッチ→別の位置までドラッグして離すと、位置を入れ替えられます。「ホームから削除」までドラッグして離すと、ホーム画面を削除できます。 • ＋ をタップすると、最大7枚までホーム画面を追加できます。
設定	設定メニューを表示します(P.118)。

※1 ショートカットやウィジェットのない壁紙部分をロングタッチして追加することもできます。
※2 ホーム画面に追加するスペースがない場合は選択できません。
※3 フォルダー名を変更するには、ホーム画面でフォルダーをタップ→フォルダー上部のフォルダー名をロングタッチ→フォルダー名を入力→「OK」をタップします。
※4 ホーム画面で2本の指の間隔を狭めても、ホーム画面のサムネイルを表示できます。

ホーム画面からショートカットやウィジェットを削除／移動する

例:削除する場合

1 **ホーム画面上の削除したいウィジェットやショートカットをロングタッチする**

画面下部に「ホームから削除」が表示されます。

2 **そのまま「ホームから削除」までドラッグして離す**

移動する場合

移動したい位置までドラッグして離します。

お知らせ

- ホーム画面下部のアプリケーション画面（P.65）から移動したアイコンと「アプリ」は削除／移動できません。
- ホーム画面で、［メニュー］→「追加」→「フォルダー」→「新規フォルダー」をタップして作成したフォルダーまでショートカットをドラッグすると、フォルダー内にショートカットを移動できます。

クイック検索ボックスを使用する

入力した文字が含まれる情報をFOMA端末内やインターネットから検索できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「検索」

[メニューキー] をロングタッチしても起動できます。

① 入力した文字が表示されます。

② [g] をタップした後に表示される [設定アイコン] をタップして、検索する情報の種類を指定します。

③ 入力中の文字を含むFOMA端末内の情報や検索候補が表示されます。

④ 文字入力後に [→] をタップすると検索を開始します。
文字が入力されていない場合は [マイク] が表示され、タップすると音声で検索したい語句を入力できます（ウェブ検索のみ）。

⑤ 選択した文字で再度検索候補を表示します。

検索のメニュー

[メニューキー] →「検索設定」をタップすると以下の項目が表示されます。

項目		説明
ウェブ	Google検索の設定	Google検索時の候補や履歴の表示、履歴管理などを設定します。
電話	検索対象	検索対象を設定します。
	ショートカットを消去	検索結果へのショートカットを削除します。

お知らせ

- ホーム画面で「アプリ」→「音声検索」をタップすると、Google検索で検索したい語句を音声で入力できます。
- 音声検索の画面で [メニューキー] →「設定」をタップすると、音声認識の設定ができます。
- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

画面ロックを設定/解除する

画面ロックを設定し、タッチスクリーンやボタンの誤動作を防止できます。

- 画面の表示が消えると、約5秒後に自動的に画面ロックが設定されます。

手動で画面ロックを設定する

1 [電源キー]を押す
画面の表示が消え、画面ロックが設定されます。

画面ロックを解除する

1 画面ロック中に [ホームキー] / [電源キー] を押す
ロック解除画面が表示されます。

2 画面ロックが解除されるまで、画面を上下左右のいずれかの方向にドラッグする

お知らせ

- 画面ロック中に不在着信の通知情報があると、ロック解除画面の左側に通知情報が表示されます。アイコンを右にフリックすると、通知情報の詳細を確認できます。SMSの場合は、右側に通知情報が表示されます。
- 画面ロックの解除にパターン/PIN/パスワードの入力が必要になるように設定できます(P.91)。
- パターン/PIN/パスワードを設定している場合、ロック解除画面には「緊急通話」が表示され、タップすると緊急通報ができます。ただし、圏外、ネットワーク規制中、または日本国内でドコモUIMカードを取り付けていない場合は、緊急通報ができません。

アプリケーション画面

FOMA端末の機能やアプリケーションは、アプリケーション画面にアイコンで表示され、タップして起動したり、設定を確認したりすることができます。アプリケーション画面は複数のページで構成され、左右にスクロール／フリックして表示を切り替えることができます。

アプリケーション画面を表示する

1 **ホーム画面で「アプリ」**
アプリケーション画面が表示されます。

お知らせ

- アプリケーション画面で2本の指の間隔を狭めてサムネイルを表示し、アプリケーション画面のサムネイルをロングタッチ → 別の位置までドラッグして離すと、位置を入れ替えられます

アプリケーション画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
編集	• アプリケーション画面のアイコンをドラッグして、表示位置を変更できます。また、画面左右の外側にアイコンをドラッグすると、左右のページにアイコンを移動できます。 • ホーム画面下部の「フォルダーを追加」、「ページを追加」にアイコンを移動させて、フォルダーを作ったり、ページを追加したりすることができます。 • ホーム画面下部の「ホーム」以外のアイコンをドラッグして、アプリケーション画面のアイコンとの交換や表示位置の変更などができます。
リスト表示に切替／グリッド表示	アプリケーション画面の表示方法を切り替えます。
アプリ情報を共有	アプリケーションの情報を共有します。

アプリケーション一覧

アイコン	アプリケーション	説明
	電話※	通話アプリケーションです。
	spモードメール※	iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます(P.123)。
	ブラウザ※	ウェブブラウザアプリケーションです。
	時計	アラーム、世界時計、ストップウォッチ、タイマーを利用できます。
	カレンダー	スケジュールを管理できます。
	音楽	音楽を再生できます。
	カメラ※	静止画や動画を撮影できます。
	マップ	Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などができます。
	Eメール	Eメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。
	Gmail	GmailでEメールの送受信ができます。
	ギャラリー	静止画や動画を閲覧・整理できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	検索	クイック検索ボックスで各種情報を検索できます。
	マーケット※	Androidマーケットからアプリケーションをダウンロードできます。
	設定	FOMA端末の各種設定ができます。
	Social Hub※	SMSやSNS(Social Network Service)を統合するメッセージングアプリケーションを利用して、SMSの送信やSNSの情報更新ができます。
	動画	動画を再生できます。
	AllShare	DLNA(Digital Living Network Alliance)対応機器とファイルを共有できます。
	Kies air	PC-to-phone接続やブラウザベースの管理ができます。
	トーク	Googleトークでチャットができます。
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあったり、メールを送ったりできます。
	タスク	タスクを登録・確認できます。
	ナビ	Googleマップナビで目的地までのルートを確認できます。

アイコン	アプリケーション	説明
	プレイス	現在地周辺の店などの情報を検索できます。
	音声検索	音声でキーワードを入力してGoogle検索ができます。
	ボイスレコーダー	音声を録音できます。
	ダウンロード	ダウンロードしたファイルやアプリケーションが表示されます。
	フォトエディター	静止画が編集できます。
	マイファイル	静止画や動画、音楽などのデータを表示･管理できます。
	ミニダイアリー	写真付きの日記を作成できます。
	ビデオメーカー	ビデオを編集できます。
	電卓	計算ができます。
	Samsung Apps※	役に立つアプリケーションのダウンロードや、インストールしたアプリケーションのアップデートができます。
	ニュースと天気	位置情報に対するニュースと天気の情報が見られます。
	タスクマネージャー	起動中のアプリケーションの確認･終了などができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。
	オリコンスタイル	ニュースやオリコン ランキングを閲覧できます。
	ドコモマーケット※	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定･確認をサポートします。
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。
	ビデオマーケット	映画･ドラマ･アニメなどの動画を楽しめるアプリです。
	ホーム切替	ホーム画面を切り替えることができます。
	マガストア	雑誌を購入して閲覧できます。
	マクドナルド	マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。
	メッセンジャー	チャットができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	メモ	メモを作成できます。
	メロディコール	電話をかけてきた相手にお好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。 メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
	ワンセグ※	ワンセグの視聴ができます。
	Backup	FOMA端末に保存されているデータをバックアップ、復元できます。
	BeeTV	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	BookLive! for GALAXY	書籍やコミックの購入と閲覧ができます。
	DioDict	辞書を利用して単語を調べることができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	ecoモード	電池の消費を抑えるecoモードを利用できます。 電池残量に応じて自動でONにしたり、ウィジェットから簡単に設定を変更したりできます。
	Evernote	EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索･閲覧できるサービスです。 情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。 • 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。 キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグへの視聴･録画予約も可能です。
	Game Hub※	ゲームのダウンロード、プレイができます。

アイコン	アプリケーション	説明
	iチャネル	天気やニュースなど様々な情報を配信します。自動的に受信した最新の情報が待受画面のウィジェット上に表示されます。 iチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
	PolarisOffice	Office文書の表示･編集･新規作成ができます。
	SMS	SMSの送受信ができます。
	Twonky Mobile Special	スマートフォン内やインターネット上の動画･写真･音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。 インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。
	YouTube	動画の再生･投稿ができます。
	楽天オークション	楽天オークションに出品されている､人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	取扱説明書※	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます(P.1)。

アイコン	アプリケーション	説明
	書籍・コミックE★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
	声の宅配便	声の宅配便は、音声電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。 本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
	地図アプリ	ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。トライアル期間は無料で利用可能です。
	電子書籍	端末上で本を読むことができます。
	電話帳	電話帳の登録・管理ができます。
	電話帳コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

アイコン	アプリケーション	説明
	電話帳バックアップ	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 ※電話帳バックアップの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

※ お買い上げ時は、ホーム画面／アプリケーション画面下部に配置されています。

お知らせ

- アプリケーション画面下部の「ホーム」をタップすると、ホーム画面に戻ります。
- EメールやSMSを受信すると、「Eメール」や「SMS」のアイコンの右上に受信したメールの件数が表示されます。
- アプリケーション画面のアイコンをロングタッチすると、ホーム画面にショートカットを作成できます。

最近使用したアプリケーションのウィンドウを開く

ウィンドウには、最近使用したアプリケーションが最大6件まで表示されます。

1 ▭ を1秒以上押す
- アイコンをタップすると、アプリケーションを起動できます。
- 「タスクマネージャー」をタップすると、タスクマネージャーを起動できます。

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 ホーム画面で「アプリ」→「タスクマネージャー」

タスクマネージャー画面

① タブ
「起動中のアプリ」タブ：起動中のアプリケーションの一覧が表示されます。
「ダウンロードしました」タブ：インストールしたアプリケーションの一覧とメモリ使用状況を確認します。「アンインストール」をタップすると、アプリケーションをアンインストールします。
「RAM」タブ：RAMの使用状況を確認します。「メモリーの消去」をタップすると、RAMの内容を消去します。
「保存先」タブ：各種メモリの使用状況を確認します。

「ヘルプ」タブ：電池パックの使用時間を延ばすためのFOMA端末の使用方法や、RAMマネージャーについての説明が表示されます。

② **起動中のアプリケーションの件数**
「全て終了」をタップすると、起動中のアプリケーションをすべて終了します。

③ **起動中のアプリケーション一覧**
「終了」をタップすると、アプリケーションを終了します。
CPU使用率により、文字の色が変わります。使用率が高いと赤く表示されます。

表示されていないタブを表示させるには

タブ表示部分の右端または左端が青くグラデーション表示されている場合は、スクロールすると表示されていないタブを表示できます。

お知らせ

- 「起動中のアプリ」タブで [メニュー] → 「リスト」をタップすると、一覧の表示順を変更できます。

FOMA端末の基本的な設定について

FOMA端末のお買い上げ後などに変更されることが多い基本的な設定項目について説明します。

画面切り替え時のアニメーション効果を設定する

画面がなめらかに切り替わるように見えるアニメーション効果の有効／無効を設定します。

1 ホーム画面で ▭ →「設定」→「画面」→「アニメーション表示」

2 設定項目を選択する

項目	説明
アニメーションなし	アニメーション効果を無効にします。
一部のアニメーション	アプリケーション画面表示時など、一部の画面切り替え時のみアニメーション効果を有効にします。
全てのアニメーション	アニメーション効果を有効にします。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面で ▭ →「壁紙」

2 壁紙の選択元を「ギャラリー」「ライブ壁紙」「壁紙ギャラリー」「壁紙ギャラリー」から選択→壁紙を選択

ディスプレイの明るさを調節する

お買い上げ時、ディスプレイの明るさは周囲の明るさにあわせて自動的に調整されるように設定されています。手動で調整する場合は、以下の操作を行います。

1. ホーム画面で [ ] →「設定」→「画面」→「明るさ」
2. 「自動明るさ調整」のチェックを外す
3. スライドバーの [ ] を左右にドラッグ →「OK」

お知らせ

- 本FOMA端末の温度が高い場合、過熱を防ぐために最大の明るさに設定することができません。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」→［メニュー］→「新規APN」

2 「名前」→ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 →「OK」

3 「APN」→ アクセスポイント名を入力 →「OK」

4 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

- 携帯国番号を440、通信業者コードを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

5 ［メニュー］→「保存」

- 携帯国番号、通信業者コードの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、設定リセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」
2. ［メニュー］→「設定リセット」

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1. ホーム画面で ⊟ →「設定」→「無線とネットワーク」→「モバイルネットワーク」→「アクセスポイント名」
2. 「mopera U(スマートフォン定額)」／「mopera U設定」の ● をタップして選択する

お知らせ

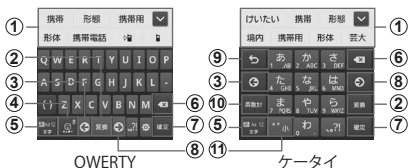
- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U(スマートフォン定額)」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U(スマートフォン定額)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

文字入力

文字を入力するには、文字入力欄をタップして文字入力用のキーボードを表示し、キーボードのキーをタップします。
ここでは、Samsung日本語キーボードで文字を入力する方法について説明します。

Samsung日本語キーボードで入力する

Samsung日本語キーボードは、「QWERTY」と「ケータイ」の2種類のキーボードを利用できます。

- QWERTY:パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。日本語をローマ字で入力します。
- ケータイ:一般の携帯電話のような入力方法(マルチタップ方式)のキーボードです。入力したい文字が割り当てられているキーを文字が入力されるまで数回タップします。

① 予測変換候補/通常変換候補が表示されます。候補をタップすると文字を入力できます。
  - 予測変換をOFFに設定している場合や、予測変換候補の表示中に「変換」をタップすると、通常変換候補が表示されます。
  - 変換候補が表示されていない場合、∨ をタップすると、予測変換候補/通常変換候補を全画面表示できます。∧ をタップすると、元の表示に戻ります。

② 通常変換候補を表示します。
- 変換候補が表示されていない場合、␣ が表示されている場合は、タップするとスペースを入力できます。

③ カーソルを左に移動します。

④ 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。
- タブをタップして一覧を切り替えます。
- 「戻る」をタップすると、キーパッドを表示します。
- をタップすると、音声で文字を入力できます。

⑤ 文字入力モードを切り替えます（P.85）。

⑥ カーソルの左側にある文字や記号などを削除します。

⑦ 入力した文字を確定します。
- ↵ が表示されている場合は、タップすると改行します。

⑧ カーソルを右に移動します。
- 同じキーに割り当てられている文字を続けて入力する場合などにタップします。
- ワイルドカード予測をONにしている場合は、タップするとワイルドカード予測（P.86）を利用できます。

⑨ 確定前の文字を、キーをタップしたときと逆順に切り替えます。

⑩ 英数カナの変換候補が表示されます。再度タップすると予測変換候補／通常変換候補が表示されます。
- 文字が入力されていない場合は （絵文字／記号／顔文字切替）が表示されます。

⑪ 文字を大文字／小文字に切り替えます。
- 全角／半角英字入力モードの場合は「A／a」と表示されます。

お知らせ

- 音声入力には、モバイルネットワークでの接続が必要です。Wi-Fi接続ではご利用になれない場合があります。

キーボードの種類を切り替える

1 キーボード表示中に をロングタッチする

2 「ケータイ」／「QWERTY」

文字入力モードを切り替える

1 キーボード表示中に をロングタッチする

2 利用したい文字入力モードをタップする

文字入力モードを切り替えると、キーの表示が次のように変わります。

:漢字ひらがな入力モード
:全角カタカナ入力モード
:半角カタカナ入力モード
:全角英字入力モード
:半角英字入力モード
:全角数字入力モード
:半角数字入力モード

お知らせ

- をタップしても、タップするごとに「漢字ひらがな入力モード」→「半角英字入力モード」→「半角数字入力モード」の順に切り替えられます。
- 利用するアプリケーションや機能によっては、操作2で掲載のキー以外が表示される場合があります。

ワイルドカード予測を利用する

ワイルドカード予測とは、単語などの読みの文字数を入力して、変換候補を絞り込む機能です。

- 予測変換とワイルドカード予測をONにしている場合に利用できます。

例:「東京都」を入力する場合

1 キーボード表示中に「と」「う」を入力する

2 ⊖ を4回タップする

入力欄に「とう○○○○」が表示され、予測変換候補に「東京都」が表示されます。

読みの文字数を変更する場合

⊖/⊖ をタップします。

3 「東京都」

自分の電話番号を確認する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「端末情報」→「ステータス」

「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

相手に自分の電話番号を通知する

- 電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。
- 圏外では発信者番号通知設定の操作は行えません。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「通話」→「ネットワークサービス」→「発信者番号通知」

2 「開始」→「OK」

- 電話番号を非通知に設定するには、「停止」→「OK」をタップします。
- 現在の設定を確認するには、「設定確認」をタップします。

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 入力した画面ロック用PIN／パスワード、ネットワーク暗証番号、PINコード、PINロック解除コード（PUK）は、「●」で表示されます。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でお申し込みされたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN／パスワード

FOMA端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたは総合お問い合わせ先でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
※「My docomo」については、P.173をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となるように設定できます。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使用できなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」（PUK）を入力してロックを解除してから、PINコードの再設定を行ってください。
  PINロック解除コード（8桁）を入力 →「OK」→ 新しいPINコードを入力 →「OK」→ 再度PINコードを入力 →「OK」をタップします。

PINロック解除コード（PUK）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。ロックされた場合は、ドコモショップ窓口までお問い合わせください。
- 日本国内ではPINロック解除コード入力画面で「緊急通話」をタップしても110番／119番／118番に発信できません。

PINコードを設定する

FOMA端末の電源を入れたときにPINコードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードロック」にチェックが付きます。

お知らせ

- 日本国内ではPINコード入力画面で「緊急通話」をタップしても110番／119番／118番に発信できません。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIMカードロックを設定」→「SIMカードロック」→ PINコードを入力 →「OK」

- 「SIMカードロック」にチェックが付きます。

2 「SIM PINの変更」→ 画面の指示に従って現在のPINコードと新しいPINコードを入力

画面ロックの解除方法を設定する

画面ロックの解除時に、あらかじめ設定しておいたロック解除パターンやPIN、パスワードをタッチスクリーンで入力しなければならないように設定できます。

1 **ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「画面ロック設定」**

2 **「パターン」／「PIN」／「パスワード」→画面の指示に従って入力する**

「PIN」は4つ以上の数字、「パスワード」はアルファベットを含む4つ以上の文字で設定してください。

お知らせ

- 画面ロック設定をオフにするには、ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「画面ロック設定」→パターン/PIN/パスワードを入力→「なし」をタップします。
- 解除パターンやPIN、パスワードの入力に5回失敗すると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。解除パターンを忘れた場合は、再入力の画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、FOMA端末に設定したGoogleアカウントにサインインすると、新しい解除パターンを作成できます。Google アカウントを設定していない場合、またはPINやパスワードを忘れた場合は、スクリーンロックの解除ができませんのでご注意ください。

SIM変更アラートを有効にする

ドコモUIMカードが別のドコモUIMカードに付け替えられたときに、付け替えられたカードの電話番号やFOMA端末固有の情報が、指定した電話番号にSMSで自動的に送信されるように設定できます。

1 Googleアカウントの設定を行う

2 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「位置情報とセキュリティ」→「SIM変更アラート」

3 Samsungアカウントの設定を行う

- 画面の指示に従って設定します。
- 既存のSamsungアカウントがある場合は、サインインしてください。
- 「SIM変更アラート」に自動的にチェックが付き、設定がオンの状態になります。

4 「アラートメッセージの受信者」

5 Samsungアカウントのパスワードを入力→「OK」

6 「SMS受信者」欄にSMSの送信先電話番号を入力

先頭に「+」、続いて送信先の国番号を入力後、先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。

- 日本の国番号は「81」です。

7 「SMSメッセージ」欄にSMSに表示されるメッセージを入力

8 「完了」

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ

キーパッド画面

① **タブ**
「キーパッド」タブ:キーパッド画面が表示されます。
「履歴」タブ(P.117)。
「電話帳」タブ(P.100)。
「お気に入り」タブ(P.112)。
「グループ」タブ(P.116)。

② **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

③ **検索結果欄**
キーパッドをタップするごとに、電話帳や履歴から対応する候補と件数が表示されます。候補がない場合は「電話帳に登録」が表示されます。

- スピードダイヤルは指定した番号を1桁、電話帳の名前（半角英数字で登録している場合のみ）を1桁以上、電話番号は3桁以上入力すると、検索されます。

④ **電話発信ボタン**

⑤ **SMSボタン**
SMSを作成・送信します（P.126 ）。

⑥ **削除ボタン**
カーソルの左側にある番号を削除します。ロングタッチすると、カーソルの左側にある番号をすべて削除できます。

2 相手の電話番号を入力する

- 同一市内へかけるときでも市外局番から入力してください。

3

通話中画面が表示されます。

4 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 本FOMA端末では、テレビ電話は利用できません。
- 1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にするには、電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力します。「発信者番号通知」（P.87 ）を利用して、あらかじめ通知／非通知を設定することもできます。
- 通話中画面は、FOMA端末を顔に近づけるなどして画面を覆ったとき（ヘッドセットなどを取り付けている場合を除く）や操作せずに約30秒経過すると、自動的に消えます。 を押すと、通話中画面を表示できます。

お知らせ

- 通話中画面では次の操作ができます。
  - II※1／▶※1:通話を保留／保留解除します。
  - 「通話を追加」※1:別の相手に電話をかけます。
  - 「キーパッド」:キーパッドを表示してプッシュ信号を送信します。
  - 「スピーカー」※2:相手の声をスピーカーから流してハンズフリーで通話します。
  - 「ミュート」:自分の声を相手に聞こえないようにします。
  - 「Bluetooth」:Bluetoothデバイスと接続してハンズフリーで通話します。

  ※1 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

  ※2 ハンズフリー通話中は、「スクリーンタイムアウト」の設定時間が経過すると自動的に画面の表示が消えます。
- 通話相手の声の音量(通話音量)を調節するには、通話中に ▯(音量大)／(音量小) を押します。

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防･救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
- また、「緊急通報位置通知」の導入地域/導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察･消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

お知らせ

- かけた地域により、管轄の消防署･警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

電話／通話の状態を音で知らせる

1 ホーム画面で [=] →「設定」→「通話」→「通話通知」

2 設定したい項目をタップする

項目		説明
応答バイブ		着信者が通話に応答すると電話機が振動するかどうかを設定します。
通話時の状況通知音	呼出開始音	呼び出し開始音を鳴らすかどうかを設定します。
	通話時間通知（毎分）	通話時間通知を行うかどうかを設定します。
	通話終了音	通話終了音を鳴らすかどうかを設定します。
通話中イベント通知		SMSの受信などが発生したときの通知方法を設定します。 • マナーモード設定時は動作しません。ただし、「音声」を選択した場合は、マナーモード設定時も「音声合成設定」に従って通知します。

発着信履歴を利用して電話をかける

履歴では、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴を一覧で確認できます。

- SMSの送受信履歴も確認できます。

1 **ホーム画面で「電話」→「履歴」タブ**

履歴画面が表示されます。

⬅	：着信／受信履歴	➡	：発信／送信履歴
📞	：電話	✉	：SMS
不在	：不在着信履歴	⊘	：着信拒否履歴
拒否	：拒否リストからの電話		

2 **かけたい相手をタップする**

履歴詳細画面が表示されます。

3 📞

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手の画像をタップし、アイコンをタップすると、電話の発信／SMSやEメールの作成／電話帳の登録情報の表示などができます。

履歴画面／履歴詳細画面のメニュー

[≡] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
表示設定※1	表示する履歴の種類を切り替えます。
削除	履歴を削除します。
通話時間※1	通話時間を確認します。
拒否リストに追加※2	「着信拒否」(P.108)の着信拒否リストに電話番号を追加します。
編集して発信※2	電話番号が入力されたキーパッド画面を表示します。
発着信履歴を送信※2	発着信履歴を送信します。

※1　履歴画面で表示されます。
※2　履歴詳細画面で表示されます。

スピードダイヤルを登録する

1 ホーム画面で「電話」→「電話帳」タブ

2 [≡] →「その他」→「スピードダイヤル」

3 2〜9番のダイヤルキーパッドに、スピードダイヤルとして発信する連絡先を登録する。

- 1番には留守番電話が登録されており、変更できません。
- 登録されている連絡先がある場合、短縮番号をタッチして発信することができます。
- スピードダイヤルを変更するには、既存のスピードダイヤルをロングタッチして、「削除して上書き」「削除」をタッチすることで変更できます。

スピードダイヤルで発信する

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→短縮番号が割り当てられたキーをロングタッチする

電話帳から電話をかける

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」

登録情報の一覧が表示されます。

お気に入り(P.112)を利用する場合

ホーム画面で「電話」→「お気に入り」タブをタップします。

2 発信したい相手をタップする

登録情報の詳細が表示されます。

3 相手の電話番号をタップする

国際電話（WORLD CALL）を利用する

WORLD CALLは国内でドコモのFOMA端末からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 海外での利用については、eトリセツの「海外利用」をご覧ください。
- 通信事業者によっては、発信者番号が通知されない／正しく表示されないことがあります。この場合、履歴から電話をかけることはできません。

WORLD CALLについてのご不明な点は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「0」「1」「0」→国番号→地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた相手の電話番号を入力する

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

2

3 通話が終了したら「通話を終了」

お知らせ

- 「国番号-地域番号（市外局番）-電話番号」の先頭に、「0」をロングタッチして「+」を入力すると、発信時に「+」が国際アクセス番号の「009130010」に変換され、国際電話をかけることができます。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信中の画面が表示されます。

- 圏外の状態に電話がかかってきた場合、着信通知お知らせがSMSで送られます。

2 を円の外側にドラッグする

着信拒否する場合

を円の外側にドラッグします。

着信拒否して相手にSMSで拒否理由を伝える場合

画面下部の「拒否してSMS送信」を上方向にドラッグし、拒否理由をタップします。

- 「SMS作成」をタップすると、SMSを作成できます。

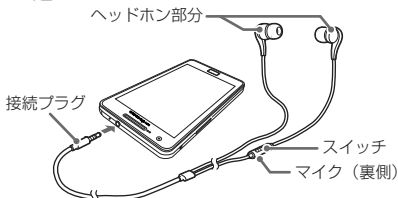
お知らせ

- 拒否理由は、「着信拒否SMSを設定」(P.108)で変更できます。
- 着信中に ▯（音量大）／（音量小）を1秒以上押すと、着信音やバイブレーションを停止できます。

マイク付ステレオヘッドセットの使いかた

マイク付ステレオヘッドセット(試供品)を接続すると、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

■ マイク付ステレオヘッドセットの取り付けかた

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグをFOMA端末のヘッドホン接続端子に差し込む

■ マイク付ステレオヘッドセットで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

電話がつながると通話ができます。自分の音声は、マイク付ステレオヘッドセットのマイクから相手に送られます。

着信を拒否する場合

着信中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

通話を保留/保留解除する場合

通話中にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを1秒以上押して離します。

- 「キャッチホン」をご契約いただいている場合のみ操作できます。

2 通話が終了したら再度スイッチを押す

お知らせ

- FOMA端末にマイク付ステレオヘッドセットを接続している場合でも、着信音やアラームはFOMA端末からも鳴ります。

各種音量を調節する

FOMA端末から鳴る以下の音の音量を調節します。

- 音声着信:電話着信時の着信音
- メディア:音楽プレイヤーなどの再生音
- 操作音量:タッチ操作音や電源ON／OFF時の起動／終了音
- 通知設定:通知(P.56)があったときの通知音

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「サウンド」→「音量」

音量バーが表示されます。

2 各音量のスライドバーの [□] を左右にドラッグ →「OK」

■ 音量ボタンで着信音量を調節する

1 [音量キー](音量大)／(音量小)を押す

キーパッド使用時のタッチ操作音のオン／オフを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「サウンド」→「タッチ操作音」にチェックを付ける／外す

公共モード（電源OFF）を利用する

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。
公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

1 ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ →「*」「2」「5」「2」「5」「1」を入力 →

公共モード（電源OFF）が設定されます（画面上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）を解除する場合

ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「*」「2」「5」「2」「5」「0」を入力→ をタップします。

公共モード（電源OFF）の設定を確認する場合

ホーム画面で「電話」→「キーパッド」タブ→「*」「2」「5」「2」「5」「9」を入力→ をタップします。

公共モード（電源OFF）に設定すると

「*」「2」「5」「2」「5」「0」を入力し、 をタップして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
サービスエリア外または電波が届かないところにいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

- 電話をかけてきた相手には電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

着信／通知を音や振動で知らせる

着信時や通知時に鳴らす着信音／通知音のメロディなどを設定したり、振動させるかどうかを設定したりします。

着信音／通知音を設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「サウンド」→「電話着信音」／「通知着信音」

2 設定したい着信音／通知音をタップ→「OK」

「消音」を選択すると、着信音／通知音は鳴りません。

バイブレーションを設定する

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「サウンド」→「バイブ」→ 設定項目を選択する

電話から鳴る音を消す

マナーモードをONに設定すると、着信音や通知音などが鳴らなくなります。

1 **を1秒以上押す**

オプションメニュー画面が表示されます。

2 **「マナーモード」**

ステータスバーに が表示されます。

- お買い上げ時は、マナーモードをONに設定するとバイブレーションが振動します。「バイブ」の設定を変更し、マナーモードと連動してバイブレーションが振動しない設定になっている場合、ステータスバーに が表示されます。

マナーモードをOFFに設定する場合

を1秒以上押し、「マナーモード」をタップします。

お知らせ

- ホーム画面で → 「設定」 → 「サウンド」 → 「マナーモード」にチェックを付けても、マナーモードをONに設定できます。
- マナーモード設定中は、以下の項目が設定できません。
  - 音量
  - 電話着信音
  - 通知着信音
  - GPS通知
- (音量小)を押して着信音量を0にすると、マナーモード(P.107)がONに設定されます。

着信拒否時にSMSで送信する拒否理由を登録する

本FOMA端末では、電話の着信を拒否して相手にSMSで拒否理由を伝えることができます。拒否メッセージは、最大6件まで登録できます。

- お買い上げ時は5件の拒否メッセージが登録されています。6件登録済みの状態で新しく登録する場合は、不要なメッセージを削除してから登録してください。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「通話」→「着信拒否SMSを設定」→「作成」

拒否メッセージを削除する場合

[メニュー] →「削除」→ 削除したい拒否メッセージにチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける →「削除」をタップします。

2 拒否メッセージを入力 →「保存」

お知らせ

- 拒否メッセージは全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで入力できます。

指定した電話番号からの着信を拒否する

着信を拒否したい相手の電話番号を登録できます。電話番号は、最大30件まで登録できます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」→「通話」→「着信拒否」

2 「着信拒否リスト」

非通知の電話を拒否する場合

「非通知」にチェックを付けます。

登録した電話番号を修正する場合

修正したい電話番号をタップ→電話番号を修正→「保存」をタップします。

登録した電話番号を削除する場合

[メニュー] →「削除」→ 削除したい電話番号にチェックを付ける／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

3 「追加」

4 拒否したい電話番号を入力

- 履歴や電話帳から電話番号を引用する場合は、[アイコン] →「履歴」／「電話帳」→登録する相手をタップします。
- 登録した電話番号のチェックを外すと、着信拒否を解除できます。

5 「振り分けルール」→指定する振り分けルールをタップする

■ 振り分けルール

項目	説明
完全一致	指定した番号と完全に一致する電話番号からの着信を拒否します。
前方一致	指定した番号で始まる電話番号からの着信を拒否します。
後方一致	指定した番号で終わる電話番号からの着信を拒否します。
部分一致	指定した番号を含む電話番号からの着信を拒否します。

6 「保存」

お知らせ

- 登録した電話番号を拒否するには、「自動着信拒否モード」で「ブラックリストのみ」を選択する必要があります。

電話帳

電話帳に登録する

電話帳に名前や電話番号、メールアドレスなどさまざまな情報を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「電話帳」

お買い上げ時の場合、「電話帳」タブ画面が表示されます。

2 [+] → 登録先を選択する

本FOMA端末にオンラインサービスのアカウントなどを設定している場合は、登録先として追加表示されることがあります。

連絡先編集画面

① **画像欄**

画像を登録できます。保存済みの画像を選択するには「アルバム」、写真を撮影するには「カメラを起動」をタップします。

② **ラベルボタン**
入力内容のラベル(種類)を選択できます。表示されるリストから「カスタム」をタップすると、任意のラベルを作成できます。

③ **詳細入力ボタン**
読みがなや敬称など詳細情報を入力できます。

④ **項目追加/削除ボタン**
選択した項目の入力欄を追加/削除できます。

3 必要な項目を入力する

- 「その他」をタップすると、メモやURL、誕生日などを入力できます。
- 設定できる項目は、連絡先の保存先(docomo、本体(本FOMA端末)、SIM(ドコモUIMカード))や言語の設定によって異なります。
- 保存先が「SIM」(ドコモUIMカード)の場合、名前欄には全角9文字まで入力できます。

4 「保存」

- 「グループ」をタップすると、連絡先をグループ分けできます。
- 「着信音」をタップすると個別の着信音を設定できます。
- 本FOMA端末以外に保存された連絡先には、保存先のアイコンが表示されます。
- 連絡先が表示されない場合は [メニュー] →「その他」→「表示オプション」をタップして表示の設定を変更できます。

連絡先をお気に入りに追加する

■ 電話帳から追加する

1 「電話帳」タブ画面で追加したい連絡先 → ☆（グレー）をタップして ☆（黄色）にする

■ お気に入り画面から追加する

1 ホーム画面で「電話」→「お気に入り」タブ

2 [メニュー] →「お気に入りに追加」→ 追加したい連絡先にチェックを付ける →「追加」

追加した連絡先が「お気に入り」欄に表示されます。

■ お気に入り画面のメニュー

[メニュー] をタップすると以下の項目が表示されます。

項目	説明
お気に入りに追加	連絡先をお気に入りに追加します。
削除	連絡先をお気に入りから削除します。
グリッド表示／リスト表示に切替	表示方法を切り替えます。
ランキング優先／お気に入り優先	「お気に入り」欄と「回数」欄の表示を入れ替えます。

プロフィールを登録する

1 「電話帳」タブ画面で [メニュー] →「プロフィール」

2 プロフィールの表示画面で [メニュー] →「編集」をタップします

3 必要な項目を入力 →「保存」

お知らせ

- プロフィールを名刺データとして送信するには、プロフィールの表示画面で [メニュー] →「連絡先を送信」→ 送信方法をタップします。

連絡先の内容を確認/編集する

1 「電話帳」タブ画面で確認したい連絡先をタップする

連絡先の詳細が表示されます。

- 電話番号をタップすると、電話をかけることができます。
- [SMS] をタップするとSMSを作成できます。
- メールアドレスをタップするとメールを作成できます。

連絡先を編集する場合

[メニュー] →「編集」をタップします。

「電話帳」タブ画面／連絡先詳細画面のメニュー

[メニューキー] をタップすると以下の項目が表示されます。

■「電話帳」タブ画面

項目		説明
削除		連絡先を削除します。
プロフィール		→P.113
連絡先を同期		連絡先を同期します。
Googleと結合		端末内のすべての連絡先をGoogleアカウントと結合します。
インポート･エクスポート		連絡先をインポート／エクスポートします。
SNSアカウント表示※		SNSのアカウントを表示します。
その他	アカウント	アカウントと同期の設定や、SNSのアカウントを登録･管理します。
	スピードダイヤル	スピードダイヤルを設定します。→P.99
	Eメール送信	選択した連絡先にメールを送信します。
	SMS送信	選択した連絡先にSMSを送信します。

項目			説明
その他	表示オプション	電話番号登録ありのみ表示	電話番号が登録されている連絡先のみ、「電話帳」タブ画面に表示します。
		表示する連絡先	チェックを付けた項目に該当する連絡先のみが表示されます。
	設定		連絡先を新規に登録するときの保存先を設定したり、本FOMA端末やドコモのサービス番号を確認したりできます。

※ 登録状況によって、「その他」の項目で表示されることがあります。

■ 連絡先詳細画面

項目	説明
編集	連絡先の内容を変更します。
削除	連絡先を削除します。
連絡先を統合	家族や会社などの関連する連絡先をリンクさせて、1つの連絡先にまとめます。
連絡先を分離※1	「連絡先を統合」で1つにまとめた連絡先を分離します。
メインの連絡先に設定	電話番号などを2件以上入力したとき、優先的に利用する電話番号などを指定します。
連絡先を送信※2	連絡先を名刺データとしてメールなどで送信します。

項目		説明
その他	拒否リストに追加	拒否リストに入れるかどうかを設定します。
	名刺を印刷※3	必要な項目を選択して、印刷します。

※1 「連絡先を統合」でまとまった連絡先があるときのみ表示されます。
※2 「連絡先を分離」が表示されている場合は、表示されません。
※3 印刷はSamsungプリンターでのみ印刷可能です(一部モデル除く)。

お知らせ

- 「リンク先を追加」でリンクさせた連絡先は、リンク操作を行った連絡先に結合され、「電話帳」タブ画面には表示されなくなります。

グループ分けした連絡先を確認する

連絡先の登録時に設定したグループ別に、連絡先を管理・利用できます。

1 ホーム画面で、「電話」→「グループ」タブ

連絡先が登録されているグループには、「(件数)」が表示されます。

2 確認したいグループ→連絡先をタップする

■ グループを追加/編集する

- グループごとに着信音を設定できます。

1 「グループ」タブ画面で [メニュー] →「作成」

- 登録済みのグループを編集する場合は、「グループ」タブ画面で編集したいグループをタップ→ [メニュー] →「グループ編集」をタップします。

2 グループ名を入力 →「着信音」→「基本着信音」／「マイファイルの着信音」／「プリセット着信音」

「基本着信音」をタップした場合は、お買い上げ時の着信音に設定されます。

3 設定したい着信音をタップ →「OK」→「保存」

お知らせ

- グループを削除する場合は、「グループ」タブ画面で [メニュー] →「削除」→ 削除したいグループ／「全て選択」にチェックを付ける →「削除」→「グループのみ」／「グループ内の連絡先も含める」をタップします。
- お買い上げ時に登録されているグループは削除できません。

■ グループに連絡先を追加する

1 「グループ」タブ画面で連絡先を追加したいグループをタップ → [アイコン]

2 追加したい連絡先／「全て選択」にチェックを付ける→「追加」

グループから連絡先を削除する場合

グループをタップ → [メニュー] →「グループから削除」→ 削除したい連絡先／「全て選択」にチェックを付ける→「削除」をタップします。

通信履歴を確認する

通話やメール／SMS送信の履歴を確認できます。

1 ホーム画面で、「電話」→「履歴」タブ

2 連絡先をタップする

通信内容の詳細が表示されます。電話の発信やメール／SMS送信などの操作ができます。

設定メニューについて

画面の明るさや表示方法、着信音、通信などさまざまな設定を行うことができます。

1 ホーム画面で [メニュー] →「設定」

2 メニュー項目を選択して設定を行う

メニュー項目

表示されるメニューは以下のとおりです。

項目	説明
無線とネットワーク	機内モードやWi-Fi、テザリングなどの設定を行います。
通話	ネットワークサービスや通話に関する設定を行います。
サウンド	着信音や音量、マナーモードなどの設定を行います。
画面	壁紙や画面の明るさ、バックライトなど表示に関する設定を行います。
省電力	省電力に関する設定を行います。
位置情報とセキュリティ	GPSや画面ロック、パスワードなどに関する設定を行います。
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期	アカウントや同期に関する設定を行います。
モーション	モーションに関する設定を行います。

項目	説明
プライバシー	データのバックアップや復元の設定、FOMA端末の初期化を行います。
ストレージ	microSDカードの初期化や容量表示、本体メモリの容量表示を行います。
言語と文字入力	FOMA端末で使用する言語や、キーボードの設定を行います。
音声入出力	音声認識や音声出力に関する設定を行います。
ユーザー補助	ダウンロードしたユーザー補助アプリケーションに関する設定を行います。
ドック設定	卓上ホルダSC01(別売)との接続に関する設定を行います。
日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。
端末情報	FOMA端末に関する各種情報を表示します。

Eメール

Eメールを設定する

mopera UメールのEメールアカウントや、一般のプロバイダが提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウントを設定して、Eメールの送受信ができます。

Eメールアカウントを設定する

メールアドレスとパスワードを入力すると、Eメールアカウントの設定を自動的に取得して設定が行われます。

- 自動で設定できない場合や、手動で設定する場合は、受信設定や送信設定を入力する必要があります。あらかじめ必要なEメールアカウント設定の情報をご用意ください。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」

2件目のメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」→アカウント名をタップ→［≡］→「アカウント追加」をタップします。

3件目以降のメールアカウントを設定する場合

ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」→［≡］→「アカウント追加」をタップします。

2 メールアドレス、パスワードを入力→「次へ」

Eメールアカウントの設定が自動的に取得されます。

- 自動的に設定を取得できず、アカウントタイプの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って設定を行ってください。

手動で設定する場合

メールアドレス、パスワードを入力→「手動設定」→画面の指示に従って設定します。

3 アカウント名、ユーザー名を入力→「完了」

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」→ ✉

- Eメール作成画面が表示されます。
- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、Eメールアカウント一覧画面でアカウント名をタップする →［≡］→「新規作成」をタップするとEメール作成画面が表示されます。

2 宛先に送信先のメールアドレスを入力する

- Cc／Bccを追加する場合は、［≡］→「Cc／Bccを追加」欄をタップします。

3 「件名」欄をタップ → 件名を入力する

4 本文欄をタップ → 本文を入力する

ファイルを添付する場合

「添付」→添付したいファイルをタップします。

5 「送信」

作成中のＥメールを下書き保存する場合

［≡］→「下書きとして保存」をタップします。

受信したEメールを確認する

1 ホーム画面で「アプリ」→「Eメール」

Eメール一覧画面が表示されます。

- 2件以上のEメールアカウントが登録されている場合はEメールアカウント一覧画面が表示され、EメールアカウントをタップするとEメール一覧画面が表示されます。

2 [メニュー]→「最新に更新」

3 確認したいEメールをタップする

本文画面が表示されます。

お知らせ

- Eメールを受信すると、ステータスバーに[アイコン]などが表示されます。
- Eメール一覧画面上部のタブをタップすると、フォルダーを切り替えられます。
- 送信元のメールアドレスをタップすると、「電話帳に追加」および「Eメール送信」の操作ができます。メールアドレスを電話帳に登録している場合は、送信元の名前をタップすると「連絡先表示」の操作ができます。
- データが添付されている場合は[アイコン]が表示されます。[アイコン]をタップするとファイル名や[アイコン]が表示されますので、ファイル名をタップすると添付データを確認できます。[アイコン]をタップすると、添付データをFOMA端末に保存できます。

spモードメール

iモードのメールアドレス(@docomo.ne.jp)を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®が使用が可能で、自動受信にも対応しております。
spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」→ 画面の指示に従ってspモードメールをインストールする

Gmailを利用する

Gmailを利用して、Eメールの送受信ができます。

- Gmailを利用するには、Googleアカウントの設定が必要です。Googleアカウントの設定画面が表示された場合、設定を行ってから操作してください。

1 ホーム画面で「アプリ」→「Gmail」

お知らせ

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で [メニュー] →「その他」→「ヘルプ」をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込み不要の無料サービスです。
- 最大50 件保存できます。
- 電源が入っていない、機内モード中、国際ローミング中、ＰＩＮ コード入力画面表示中などは受信できません。また、本端末のメモリー容量が少ないときは受信に失敗することがあります。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信したときは

エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴りステータスバーに通知アイコンが表示され、受信画面が表示されます。

- 着信音は最大音量で鳴動します。変更はできません。
- お買い上げ時は、マナーモード設定中でも着信音が鳴ります。鳴動しないように設定できます。

受信したエリアメールを表示する

1. ホーム画面で「アプリ」→「エリアメール」
2. 確認したいエリアメールをタップする

緊急速報「エリアメール」を設定する

受信設定や着信音設定をします。また、受信時の動作確認もできます。

1 緊急速報「エリアメール」画面で [メニュー] →「設定」

2 項目を設定する

項目		説明
受信設定		エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音		着信音の鳴動時間、マナーモード（バイブ）設定時も着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認		受信画面と着信音を確認します。
その他の設定	受信登録	本機種では非対応となります。 ※ 登録画面が表示されますが、ご利用できません。

SMSについて

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字(半角英数字のみの場合は160文字)まで、文字メッセージを送受信できるサービスです。

SMS を作成して送信する

1 ホーム画面で「アプリ」→「SMS」

スレッド(SMSを送受信した相手)一覧画面が表示されます。

2

SMS作成画面が表示されます。

3 宛先に送信先の携帯電話番号を入力する

4 「本文を入力」欄をタップ→本文を入力する

5 「送信」

受信した SMS を確認する

1 ホーム画面で「アプリ」→「SMS」

スレッド(SMSを送受信した相手)一覧画面が表示されます。

2 読みたいスレッドをタップする

SMS一覧画面が表示されます。

- 受信SMSは黄色の吹き出し、送信SMSは青色の吹き出しで表示されます。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを使用する

ブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

- ウェブページによっては、表示できない場合や、正しく表示されない場合があります。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面で「ブラウザ」

ブラウザ画面

① **アドレスバー**
ウェブページのURLや検索したいキーワードをここに入力します。

② **ブックマーク／よく見るページ／履歴**
ブックマークの一覧／よく見るページの一覧／履歴の一覧を表示します。

ウェブブラウザを終了する

1 □ を1秒以上押す → 「タスクマネージャー」→「ブラウザ」の「終了」

- ブラウザ画面で □ を押したり、⮌ をタップしたりしてホーム画面に戻っても、ブラウザは終了しません。

お知らせ

- ブラウザ画面で次の操作ができます（表示中のウェブページにより操作できない場合があります）。
  - 拡大／縮小:拡大／縮小したい位置で2本の指の間隔を広げる／狭める
  - フレームで区切られた箇所を拡大／縮小:拡大／縮小したい位置でダブルタップする
  - スクロール:スクロール／フリックする
  - 前の画面に戻る: ⮌ をタップする
  - 拡大鏡の使用:画面をロングタッチする（文字がたくさんある箇所でのみ使用可能）
  - テキストのコピー:画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ→スライダーを上下左右にドラッグして、コピーしたいテキスト範囲を選択→「コピー」
  - テキストの検索:画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ→スライダーを上下左右にドラッグして、検索したいテキスト範囲を選択→「検索」
  - テキストの共有:画面のリンクが貼られていない場所をロングタッチ→スライダーを上下左右にドラッグして、共有したいテキスト範囲を選択→「共有」

ウェブページをブックマークに追加する

1 ブラウザ画面でブックマークに追加するウェブページを表示→ [ブックマークアイコン] →「★追加」

2 ブックマークの名前を確認／変更 →「フォルダー別」欄をタップ→登録したいフォルダーをタップ →「OK」

ブックマークからウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で [ブックマークアイコン] →「ブックマーク」タブ
ブックマークの一覧が表示されます。

2 表示したいウェブページをタップする

カメラ

静止画を撮影する

1. **ホーム画面で「カメラ」**
   静止画撮影画面が表示されます。
2. **静止画撮影画面で被写体にカメラを向ける**
3. **[撮影ボタン]**
   シャッター音が鳴り、撮影されます。
   撮影した静止画は自動的に保存されます。

動画を撮影する

1. **ホーム画面で「カメラ」**
   静止画撮影画面が表示されます。
2. **静止画撮影画面 [切替スイッチ] で [○] を [ビデオアイコン] にドラッグして動画撮影モードに切り替える**
3. **被写体にカメラを向ける → [撮影ボタン]**
   開始音が鳴り、動画撮影が始まります。
4. **撮影を停止するときは、[撮影ボタン]**
   終了音が鳴り、撮影した動画が自動的に保存されます。

ギャラリー

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画を閲覧したり、整理したりできます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「ギャラリー」

フォルダーの一覧画面が表示されます。
をタップするとカメラが起動します。

2 フォルダーをタップする

データの一覧画面が表示されます。画面右上の ／ をタップすると表示形式の切り替えができます。

静止画を表示する

1 データの一覧画面で表示する静止画をタップする

静止画が拡大表示されます。静止画を切り替えるには画面を左右にスクロールします。
画面をタップすると以下の操作ができます。

項目	説明
／	表示を拡大／縮小します。
送信	Bluetooth機能やGmailなどで送信ができます。
登録	静止画データを壁紙や連絡先に登録します。

動画を再生する

1 データの一覧画面で再生する動画をタップする

動画の再生が開始されます。
画面をタップすると操作アイコンが表示され、以下の操作ができます。

項目	説明
／／	動画の表示サイズを切り替えます。
	データの一覧画面に戻ります。 • 動画再生中は をタップすると「ビデオリストに戻るには[戻る]キーをもう一度押してください」と表示されます。メッセージが表示された状態で をタップすると一覧画面に戻ります。
	再生画面で画面ロックを設定するとロック画面に切り替わり、画面をタップしても動作しないようにできます。
	現在の再生位置を表示します。左右にドラッグすると再生位置を変更できます。
5.1ch	ステレオヘッドホン使用時に、5.1chサラウンドの音声を楽しむことができます。
／	ロングタッチすると巻き戻し／早送りします。
／	再生／一時停止します。
	音量を調節します。

プレーヤー

動画を利用する

FOMA端末やmicroSDカードに保存してある動画を簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、動画によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
3GP, MPEG4, ASF, AVI, WMV, FLV, MKV

1 ホーム画面で「アプリ」→「動画」

2 動画をタップする
動画の再生が開始されます。

音楽を利用する

FOMA端末やmicroSDカードに保存してある音楽を簡単に再生できます。
再生できるファイル形式は以下のとおりです。ただし、楽曲によっては以下のファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
SMF, SP-Midi, WAV, OGG, MP3, AMR, AAC, AAC+, e-AAC+, WMA

音楽を再生する

1 ホーム画面で「アプリ」→「音楽」
初めて起動したときは「全て」タブ画面が表示されます。

2 画面上部のタブを選択→再生したいデータをタップする
再生が開始されます。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
社団法人　デジタル放送推進協会:http://www.dpa.or.jp/

ワンセグアンテナについて

ワンセグアンテナの方向を変える際は、無理に力を加えないでください。

お知らせ

- ワンセグアンテナをご使用の際は、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。ワンセグアンテナを最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。
- ワンセグアンテナをしまうときは、ワンセグアンテナの根元を持って止まるまで引っ込めます。ワンセグアンテナの先端を持って引っ込めないでください。

ファイル管理

FOMA端末やmicroSDカードに保存されている静止画や動画、音楽や文書などさまざまなデータの表示や管理を行えます。

1 ホーム画面で「アプリ」→「マイファイル」

2 利用したいフォルダー→ファイルをタップする

選択したファイルが表示／再生されます。

USB接続ケーブルでパソコンと接続する

FOMA端末とパソコンをPC接続用USBケーブル（試供品）で接続すると、パソコンの「Samsung Kies」や「Windows Media® Player」とデータを同期したり、FOMA端末やmicroSDカードをマスストレージとして認識させたりできます。

Wi-Fiを利用する

本FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワークの無線アクセスポイントに接続できます。また、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

1 ホーム画面で［メニュー］→「設定」→「無線とネットワーク」→「Wi-Fi設定」

Wi-Fi設定画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックを付ける

利用可能なWi-Fiネットワークのスキャンが自動的に開始され、一覧表示されます。

3 接続したいWi-Fiネットワークをタップする

セキュリティで保護されているネットワークに接続する場合は、パスワード（セキュリティキー）を入力し、「接続」をタップします。
利用可能な認証方式はWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAPです。

お知らせ

- 一度接続したネットワークのパスワード（セキュリティキー）は自動的に保存され、次回の接続時の入力は不要になります。
- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

■ WPSボタン方式で接続するには

1 Wi-Fi設定画面で「WPSボタン接続」

2 アクセスポイント機器側で、2分以内にWPSボタンを押す

Wi-Fiネットワークの接続を解除する

1 Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fiネットワークをタップ →「切断」

アクセスポイントを設定する

- 接続に必要な情報は、お使いの無線LANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。社内LANに接続する場合や公衆無線LANサービスをご利用の場合は、接続に必要な情報をネットワーク管理者またはサービス提供者から入手してください。
- 無線LANアクセスポイントが、MACアドレスを登録している機器のみと接続するように設定されているときは、FOMA端末のMACアドレスを無線LANアクセスポイントに登録してください。MACアドレスは、Wi-Fi設定画面で [メニュー] →「詳細設定」→「MACアドレス」で確認できます。

1 Wi-Fi設定画面で「Wi-Fiネットワークを追加」

2 ネットワークSSIDを入力し、セキュリティを設定 →「保存」

Wi-Fiオープンネットワークを通知する

利用可能なオープンネットワークが近くに存在している場合に通知するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面で「ネットワーク通知」にチェックを付ける

Wi-Fiの詳細設定をする

• プロキシーやポートの設定を行うこともできます。

Wi-Fiのスリープ設定をする

FOMA端末の画面がオフに切り替わったときにWi-Fiを無効にしたり、充電時には常に有効になるように設定したりできます。

1 Wi-Fi設定画面で [MENU] →「詳細設定」→「Wi-Fiのスリープ設定」→ スリープ設定を選択する

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本体を設定できます。

1 Wi-Fi設定画面で [MENU] →「詳細設定」→「静的IPを使用」にチェックを付ける

2 必要な項目をタップして入力する

静的IPアドレスを使用するには、以下の項目を入力する必要があります。

- IPアドレス
- ゲートウェイ
- ネットマスク
- DNS 1/DNS 2

3 [MENU] →「保存」

Bluetooth機能を利用して対応機器とペアリング／接続する

FOMA端末とBluetoothデバイス間で、無線でデータのやりとりができます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、eトリセツの「主な仕様」をご覧ください。
- 設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書もご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ジャケット型電池パック SC01
- HDMI変換ケーブル SC01
- 卓上ホルダ SC01
- 電池パック SC03
- リアカバー SC03
- FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01
- FOMA ACアダプタ 01／02※1※2
- FOMA DCアダプタ 01／02※1※2
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01※1※2
- FOMA 乾電池アダプタ 01※1
- 車内ホルダ 01
- キャリングケースL 01
- キャリングケース 02
- 車載ハンズフリーキット 01※3
- ワイヤレスイヤホンセット 02※3
- 骨伝導レシーバマイク 02※3
- FOMA 補助充電アダプタ 02※1

※1　本FOMA端末と接続するには、FOMA 充電microUSB変換アダプタ SC01が必要です。
※2　海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。
※3　本FOMA端末とBluetooth通信で接続できます。

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな?と思ったら

- まず初めにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(P.153)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
FOMA端末の電源が入らない(FOMA端末が使えない)	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.42 • 電池切れになっていませんか。→P.45

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.42 • アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • 付属のFOMA 充電microUSB変換アダプタSC01とFOMA端末が正しくセットされていますか。

症状	チェックする箇所
充電ができない	・ ACアダプタ（別売）をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末または卓上ホルダ（別売）にしっかりと接続されていますか。→P.45 ・ 卓上ホルダを使用する場合、FOMA端末の充電端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 ・ PC接続用USBケーブル（試供品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。 ・ 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して充電できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、通話などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタ（充電用変換アダプタ含む）が温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

症状	チェックする箇所
タッチスクリーンをタップしても動作しない	• 画面ロックが設定されていませんか。□／▯を押して画面ロックを解除してください。→P.64
ドコモUIMカードが認識されない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.38
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻の自動が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。

症状	チェックする箇所
端末動作が不安定	• セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、Samsungのロゴ画面が表示されている間、[≡]を1秒おきに連続してタップしてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症状	チェックする箇所
電話発信ボタンをタップしても発信できない	• ドコモUIMカードが正しくFOMA端末に取り付けられていますか。→P.38 • 機内モードを設定していませんか。→P.118
通話ができない	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを取り付け直してください。→P.45、P.38 • 電波の性質により、圏外ではない、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態(📶)でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法	参照先
XXXX（XXXX）が予期せず中止しました。※	FOMA端末や機能にエラーが発生したときに表示されます。「強制終了」をタップしてから再度操作してください。	－
機内モードがONです。通話を行うには、機内モードをOFFにしてください。	ドコモUIMカードが正しく取り付けられていない、または機内モードを設定した状態で電話をかけようとしたときに表示されます。ドコモUIMカードが正しく取り付けられていることを確認するか、機内モードをオフにしてから再度操作してください。	P.38、P.118

※ XXXXには、エラーが発生したアプリケーションや機能の名称などが表示されます。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名･お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障 修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化･消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例:水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子・ヘッドホン接続端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災･けが･故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。

  次のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど

  改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障 修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口、カメラ、バイブレータ部分（バックボタン付近）
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA端末の修正用ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。ソフトウェア更新には、FOMA端末で直接ネットワークに接続して行う方法と、パソコンにインストールした「Samsung Kies」を使って行う方法の2種類があります。

ソフトウェア更新についての注意事項

ソフトウェア更新はFOMA端末に保存されているデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。万が一のトラブルに備え、FOMA端末内のお客様情報やデータは、バックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし一部バックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

- ソフトウェア更新の前に以下の準備を行ってください。
  - FOMA端末で実行中のすべてのプログラムを終了する（P.76）
  - FOMA端末を充電（P.45）し、電池残量を十分な状態にする
- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗し、操作できなくなることがあります。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、更新ファイルのインストール）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新ファイルのインストール中は、電話の発着信を含めすべての機能を利用できません。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願い申し上げます。

FOMA端末だけで更新する

FOMA端末でネットワークに接続してFOMA端末のソフトウェアを更新できます。

1 Googleアカウントの設定を行う

2 ホーム画面で [≡] →「設定」→「端末情報」→「ソフトウェア更新」→「アップデートの確認」

初めて利用する場合は、メールアドレスとパスワードを入力してSamsungアカウントの登録が必要です。

3 以降、画面の指示に従って操作する

アップデートするファイルが正常にダウンロードされた後、アップデートするように操作を行うと、端末が再起動され、アップデートが開始されます。アップデート中には電話などの機能を使用できません。

お知らせ

- ソフトウェアをダウンロードしたあと、インストール続行の確認画面で「キャンセル」をタップするとインストールの実行を一定時間延期できます。
  延期した場合でも、「アップデートを再開」をタップするとすぐにインストールを開始できます。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種［SC-02C］の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.253W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ

http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

SAMSUNGのホームページ

http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年6月現在）

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.29 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.69 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly. The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSC02C.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.284 W/kg※. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.364 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

※ The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Declaration of Conformity

We, Samsung Electronics

declare under our sole responsibility that the product

GSM WCDMA Wi-Fi Mobile Phone:
SC-02C

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

SAFETY	EN 60950-1 : 2006 +A11 : 2009
SAR	EN 50360 : 2001 / AC 2006 EN 62209-1 : 2006
EMC	EN 301 489-01 V1.8.1 (04-2008) EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005) EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009) EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003) EN 300 328 V1.7.1 (10-2006) EN 301 908-1 V4.2.1 (03-2010) EN 301 908-2 V4.2.1 (03-2010) EN 300 440-1 V1.5.1 (03-2009) EN 300 440-2 V1.3.1 (03-2009) EN 301 893 V1.5.1 (12-2008)

We hereby declare that [all essential radio test suites have been carried out and that] the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Forsyth House, Churchfield Road,
Walton-on-Thames, Surrey, KT12 2TD, UK※
Identification mark: 0168

The technical documentation kept at :

Samsung Electronics
QA Lab.

CE0168 ⓘ

which will be made available upon request.
(Representative in the EU)

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park, Saxony Way,
Yateley, Hampshire, GU46 6GG, UK※

2011.05.19
(place and date of issue)

Joong-Hoon Choi/Lab Manager

(name and signature of authorised person)

※ It is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権について

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守の上、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「iモード」「iチャネル」「iアプリ」「デコメール®」「トルカ」「メロディコール」「ドコモ地図ナビ」「声の宅配便」「WORLD CALL」「公共モード」「mopera」「mopera U」および「spモード」「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG.Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

Bluetooth®

- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」 ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Android マーケット」、「Android マーケット」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google Maps」、「Google Talk」、「Google Latitude」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2011 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- DivX®、DivX Certified®およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。

DIVX HD

次の1つ以上の米国特許により保護されています: 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

DIVXビデオについて: DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®(DivX認証)デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。

プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX認証)取得済み。

1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。

DIVXビデオオンデマンドについて:DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、このDivX Certified®(DivX認証)デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。

- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。
- 「mixi」は株式会社ミクシィの商標または登録商標です。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。

- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。

  Adobe、FlashはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA. LLCにお問い合わせください。

索引

あ

か

さ

た

は

ま

ら

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方･お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内、病院内では、必ずＦＯＭＡ端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くいる可能性がある場合**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は必ず公共モードに設定しましょう

■ **運転中の場合**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 公共モード（電源OFF）（P.105）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に通話を終了します。

■ バイブレーション（P.106）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ マナーモード（P.107）
ボタン確認音・着信音などＦＯＭＡ端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号	-81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※ SC-02Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合

〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号	-8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※ 主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

● **お客様が購入されたＦＯＭＡ端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　午前9:00 ～ 午後8:00
（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

受付時間　24時間（年中無休）

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.

'11.6（3.1版）

Code No.:GH68-34309A (Rev.3.1)